

『一生懸命』幻の新座市議会報告第258弾!



たかむらともや

授業時数という強迫観念

信州大学付属松本小学校のある学級で、教科の授業時数が264コマ不足していたとして、大学は24日、記者会見で謝罪した。

教科で減らした時間のほとんどは総合的な学習に充てていたという。各教科の学習内容を総合的な学習を通じて学ばせていたのなら、この学級担任は相当力量のある意欲的な教師だ。児童も楽しく学んでいたのではないか?これが謝罪すべきことなのか?

昨年は奈良教育大学付属小学校で、学習指導要領違反や教科書使用義務違反があったとして大学が謝罪したが、「問題」とされた中に道徳の授業時数不足もあった。

今年2月には川崎市が7校の市立中学校で最大19コマの授業時数不足があったとして、学年末までに不足分を補う授業を行うと発表した。

文部科学省が省令で各学年の教科ごとに定める「標準授業時数」が金科玉条とされる風潮が強まっている。

文科省の諸君も映画「夢みる小学校」を見たらいい。南アルプス子ども村小学校では大半の時間がプロジェクトと呼ばれる活動だ。

長野県伊那市立伊那小学校でも、ヤギの飼育を通じて各教科の内容を学んでいる。

これらの教育実践が許されるなら、信大付属小学校の実践も許されなければおかしい。

授業時数という強迫観念にとらわれていたら本当の学びから遠のくばかりだ。前川喜平(本音のコラム 東京新聞朝刊から)

* 僕も謝罪しなけりゃいけないのかな。だって、21年間の道徳の授業で教科書を使ったことは一度もないし、ギターを弾いて歌を歌ったり、黒目川へ行ったり、体育館でターザンごっこをやって遊んだり...それでも子ども達は「弱い者いじめはしない」「ゴミは捨てない」そんな子に育ったと思うのです。



2025年6月25日発行



五中7期生の1年2組の子どもたち。右から貴子、怜子、尊子、礼子、恵子。無茶苦茶可愛かった。もう一度会いたいなあ。



たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
東京青山生まれ。

新宿区百人町では有名な超ワルガキ。

西戸山中学校1年の三学期にテニスと出会い、それ以来、

テニスをしている。高校時代は東京都で第六シードになるもインターハイ予選の直前に交通事故。関東大会までしか行けず、大学時代も1年生から全国学生王座には出るもあと一歩でインカレを逃す。

その鬱憤を晴らしてくれたのが五中・六中のテニス部の子達。

五中は関東・全国準優勝。六中は全国優勝2回。関東優勝3回と頑張ってくれた。

教師として21年。議員として22年目。駅立ちは20年。黒目川の川掃除は18年。

そして、「たかやん塾」では27年間、子ども達と一緒に学び続けている。写真は時々僕の駅立ちに付き合ってくれるしまぞーZ。政治家志望の吉本芸人です。(笑)



たかやんの連絡先 自宅・塾 042-456-8869 携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 愛する礼へ・・・

礼(1981年)

一年二組の「礼」の本名は礼子。同じ二組に怜子がいたので、「礼」になった。礼は頭のいい子だった。一年生の時から、顧問の僕を实によく観察していた。その礼が体育祭前に足を捻挫した。走ればその後のテニスに影響が出ることは分かっていた。それでも礼は「どうしてもリレーで走りたい。二組の為に走りたい！後悔はしない。」泣いてそう言って、担任(顧問)を説得し、そして走った。

二組のリレーは優勝した。しかし、その代償は大きかった。それから、僕はほぼ毎日礼の足にテーピングをすることになる。彼女が高校生になっても・・・

礼は勿論、キャプテンになった。顧問の僕がいなくても、完璧に練習を組める。そんなキャプテンになって、関東・全国で活躍したのである。もし、怪我をしていなかったらもの凄い選手になったと思う。テーピングをしても、100%の力では走れるようにはならなかったから。(拙著先生目から・・・)

五月三日に礼が亡くなったと聞いて、信じられませんでした。あれだけ「絶対に俺より先に死ぬんじゃねえぞ！」って言ったのに「先生の目」を礼に読ませたかったのに・・・

五中だけでガンモ、シンジ、マサミ、沢公さかえちゃん、バナナ、二郎、た一坊、和男に加え、礼まで逝ってしまったのです。

礼は僕の「さようならの唄」を聴きながら、旅立ちました。苦労した礼を思って、僕は号泣しました。もうこんな思いはしたくありません。たくさんの教え子達にもう一度いいます。「俺より先に死ぬんじゃねえぞ！」
「俺より先に死んだらぶっ殺す！(笑)」
「俺が先に死ぬからそれまで待ってね！」



僕のラインのQRコードです。この「一生懸命」や「先生の目」の感想など御寄せください。一緒に写真を撮った方は特に

③ 六月議会

もう直ぐ六月議会がはじまります。今回の一般質問は「こども基本法について」がメインで、「公園でのボール遊び」「部活の地域展開」「校則」「受動喫煙対策」「PTA」「公共施設のWi-Fi」「ワクチン」「スーパー公園のカーブミラー」などを取り上げる予定です。

勿論、「消費税廃止の意見書」も提出します。そこで何が語られるのか、是非、「新座市議会インターネット中継」をご覧ください。

③ 次世代にツケを残すな！

その通りだと思います。僕が言っているのは「国債発行残高」のことではありません。日本は**世界一の「政府資産大国」**です。し、**自国通貨建ての国債でデフォルトすることは絶対にない**から、そんなものを気にする必要はない。

次世代に残してはいけないのは、この30年間日本経済を破壊してきた自民党というツケ。大企業からは票と金をもらい、彼らの税率を下げ、補助金をやり、庶民には大増税、社会保険料を爆上げして**国民負担率を5割**まで引き上げ、実質賃金を引き下げて来た悪い奴ら。だから、この夏の参院選が大事なのです。次世代に自民党というツケを残さない戦いがこの夏、はじまります。

③ 「先生の目」の感想1

「うーん！教師になるという事は大変な事だと思います。自分の全人格をさらけ出して、子供達の人格と向き合うわけですから・・・子どもって勘がするどいから、本当にその先生が子ども達の事を考えてくれるか見抜くと思います。しかし、先生の文章は迫力があって、生半可な気持ちで教師を目指してた人は腰がひけるかも！」

でも先生が一久達と、どんな気持ちで向き合ってきてくれたか、本当に感謝です。”(六中赤ジャージ、一久の母ちゃん)

* 素敵な感想をありがとう。「**続先生の目**」で一久達が登場します。お楽しみに！

